◆新・大分市行政改革推進プランの素案【イメージ図】

テーマ１ 総合的な行政マネジメント改革

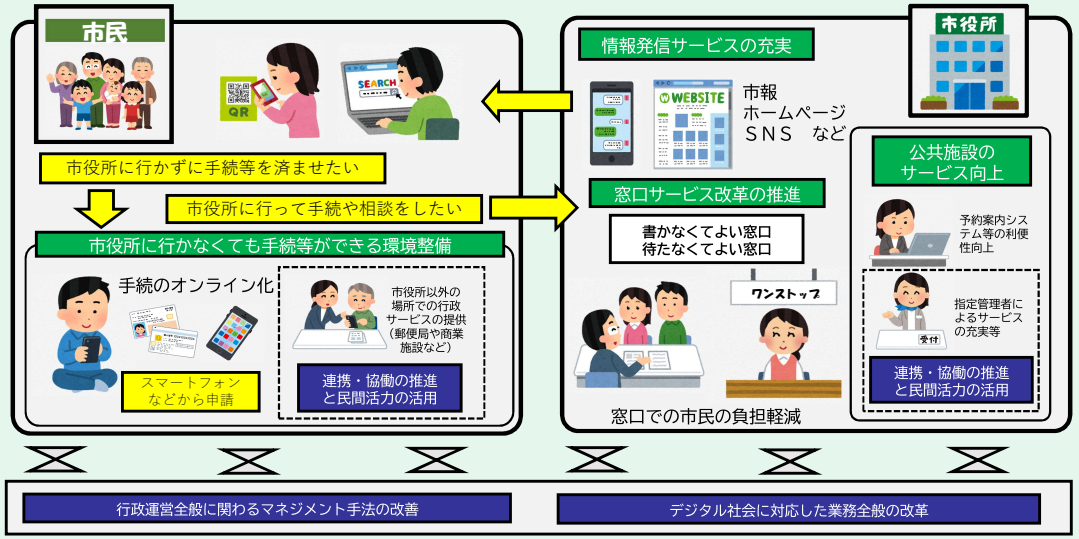
推進項目

超高齢化社会やデジタル社会といった新たな時代に対応した行政運営を進めていくためには、抜本的な変革への挑戦が必要となります。
「利用者目線でのサービス向上」「持続可能な行財政運営」「新たなニーズやリスクへの対応」といった各テーマにおける抜本的な変革に向けた取組の推進の基盤となる、総合的な行政マネジメント改革を進めます。

- 行政運営全般に関わるマネジメント手法の改善
  - 市民満足度の把握と活用
  - 行政評価を通じた効率的かつ効果的な行政運営
  - など
- デジタル社会に対応した業務全般の改革
  - 業務フローの抜本的見直し（バックオフィス改革）
  - マイナンバーカードの利活用の促進
  - など
- 連携・協働の推進と民間活力の活用

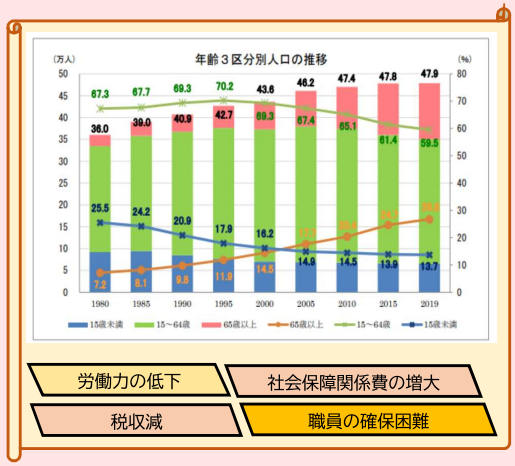
テーマ２ 利用者目線でのサービス向上

推進項目



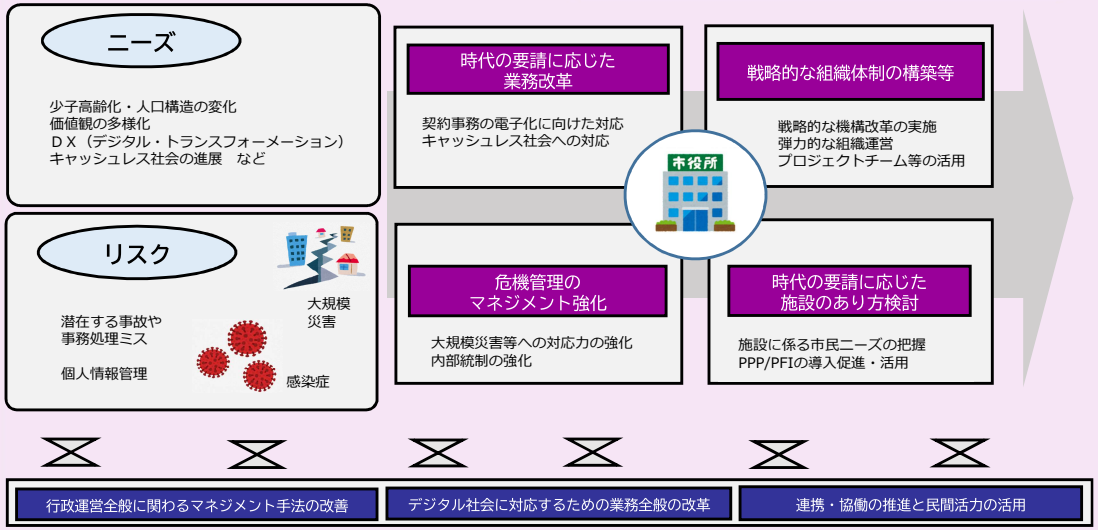
テーマ３ 持続可能な行財政運営

推進項目



テーマ４ 新たなニーズやリスクへの対応

推進項目



テーマ５ 未来を創造する経営財源の確保（歳入・歳出の改革）

推進項目

財政収支の中期見通し　令和４年10月公表（単位：億円）

	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)
歳入(A)	2,075	2,027	1,961	1,959	2,195
歳出(B)	2,075	2,037	1,980	1,965	2,200
収支(A)-(B)		△10	△19	△6	△5
基金残高(※)	132	122	103	97	92

(※)収支不足分を基金から繰り入れた場合の基金残高

取組の方向性
計画期間中における
●歳入の確保
●歳出の削減

R4～R8の収支不足の累計 △４０（億円）

歳入の改革
自主財源の確保
・「市税」の安定的確保
・「その他」自主財源の確保の促進
地方創生等に係る国補助金等の活用

使用料・手数料、財産収入(貸付収入、利子・配当金、土地・物品売払)、寄附金、諸収入(広告料・ネーミングライツなど)

歳出の改革
事務事業の整理・合理化の強化
行政事務の効率化の効果検証

- 行政運営全般に関わるマネジメント手法の改善
- デジタル社会に対応するための業務全般の改革

計画期間中の収支安定に向けた取組の効果的な推進

計画期間中(R5～R9)の収支安定に直接効果を及ぼすような行政改革の取組（歳入・歳出の改革）の改善効果額目標を**年間１０億円**とし、その達成に向けて取組を強化